

2017/3/24

(日々雑感 59)



ネットワーク。

ネットは網。網は糸の繋がり。

ワークは働く。乃至は働かせる。

以上を連立方程式的に解くと、糸の繋がりを働かせる仕組みがネットワーク。

そのネットワークに置いて、第二の起業をするにあたり、ネットワークの構築の仕方を時間軸ばかりを気にして作っていたことに気づきました。

何のことかという、退職世代の智慧を現役世代に活かして元気になって貰おう。それと同時に退職世代もそのことで元気を得て win-win の関係を作り、それを後代に引き継いでいこうという時間軸のバトンリレーばかりに気が行っていたと言う意味です。

それが、昨日のアフリカのひとと、この4月から新社会人になる女学生さん達の交点にたまたま立ったことから、国内外、人種、階層等の空間軸のネットワークの構築も有りだなど、全くの遅まきながらも、はたと気づいたわけです。

時間軸 X 空間軸のネットワーク。まだなんと名付けて良いのか分かりませんが。

アフリカの人の話で言えば、そのひとはガーナからやってきて、日本で仕事をしながら、ボランティアで、ガーナに小学校を建てる街頭募金活動をしているのです。日本に留学している仲間達と交代交代で。

ところが、あるときからその街頭で姿を見かけなくなったので、もう小学校は建ったから止めたのかをFBで聞いたところ、セラピー犬や介助犬の募金活動のグループに人が集まるようになったために、その場にいる事が出来なくなって、他に場所を変えたという答えが返ってきました。

これは、どちらが正しくてどちらに非があるかという話ではありません。そういう事実をはじめて知って驚いたと言うことです。

あるいは昨日の証券会社での投資の話で、アフリカの水、医療などライフラインをサポートする企業に投資をしたい旨を以前に伝えた回答として、大手飲料メーカーのスポーツ飲料の支援の話が出たのですが、そのスポーツ飲料の値段が120円で、その値段はアフリカの

平均的年収で一体年間に何本買えるか、一本買うと年収にどれだけ響くか？を考えていなかったようなので、止めることにしました。

これもぼくに知識があるかどうかと言うことではなくて、そういうこと考えたことがないと言う若い世代が居るという事実です。

反対に、アフリカの人たちは、自分の国に比べてライフラインがしっかり構築されてあたたかも空気のごとく自然に機能しているこの国の街頭を、栄養失調によるポテ腹もなく、男女ともビジネススーツや就活服に身を包んで「颯爽と歩いている」人たちが、実は不安や不満に充ち満ちていて、押さえ込んだ恐怖や苛立ちを隠して、腹いせ紛れに「道路と喧嘩しながら」カツカツと靴音高く歩いている現実をあまり理解していないような気がしました。

そういう誤解や行き違いをお互い知らしめて、流れをスムーズにすることで新しい何かが生まれやしないだろうか？そういうネットワークもあって良いのではないだろうか？

その空間軸と時間軸のネットワークを更にかみ合わせると、もっと何か前に進めないだろうか？・・・

話が少し拡がりすぎているようです。今日はこの辺で止めておきましょう。